

## 学習内容報告書 2

学校名	東京都板橋区立板橋第三中学校
授業者	輪湖みちよ

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

中世～近代の日本・身近な地域の歴史

#### 1-2. 学年

第二学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科・総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

全25時間

一次：戦国武将と自然環境、海を活かした領地の運営（7時間）

二次：徳川家康による江戸の開拓（5時間）

三次：明治時代の日本と地域の変化（13時間）

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

日本の諸地域や身近な地域の自然環境の特色と、その背景・原因や影響・活用を歴史的事象から理解することをねらいとして、戦国武将の領地運営、織田信長・豊臣秀吉の天下統一策、徳川家康による江戸の開拓を取り上げた。戦国から江戸にかけては、特に戦いや領地運営において自然環境との関わりが欠かせない。戦国武将達がどのように自然環境を活用していたのか、織田・豊臣・徳川はなぜその地を選び、どのように天下統一を目指したのかを歴史的事象を基にとらえることで、私達と自然環境とのつながり・関わりを考えることにつながると考え、本単元を設定した。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

##### 【知識・技能】

日本の諸地域や身近な地域の自然環境の特色とその背景・原因や影響・活用を歴史的事象から理解する

##### 【思考・判断・表現】

私達と自然環境とのつながりについて、歴史的事象を基に未来を生きる自分たちが受け継いだり、新たに取り組んだりすることを考え、試行錯誤しながら、仲間と協力して行動する

##### 【主体的に学習に取り組む態度】

私達の生活（社会・経済）と自然環境（環境）どれもがバランスよく、持続可能であることをめざし、主体的に行動する

1-7. 単元の展開（全25時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
一次 1～ 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦国時代の復習（全体）</li> <li>・ 武田信玄、上杉謙信の領地運営（全体）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川中島合戦、信玄堤、城づくり</li> </ul> </li> <li>・ 戦国武将の領地運営調べ（個別）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人レポート課題</li> </ul> <p>「戦国武将の領地運営から考える、人と自然環境（海）との関わり」（知・技、思・判・表）</p>
一次 6・ 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 織田信長、豊臣秀吉による天下統一への取組（全体）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南蛮貿易、道路や航路の整備、城・鉱山開発、商業の発展等</li> </ul> </li> </ul>	
二次 1～ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 徳川家康による江戸の開拓（全体）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治水事業、江戸城・城下町の造営、道路や航路の整備等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氷川神社の調査</li> </ul>
二次 4・ 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代に残る江戸～明治（全体）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江戸城、明治神宮、東京駅等の施設調べ（個別）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人レポート課題</li> </ul> <p>「都内巡りを通して考える、人と自然環境との関わり」（知・技、思・判・表）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都内巡り</li> </ul>
三次 1～ 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヨーロッパ諸国の近代化（全体）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民革命、産業革命</li> </ul> </li> <li>・ 幕末～明治初期の日本と世界（全体・班）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒船来航、大政奉還、明治維新</li> </ul> </li> <li>・ 明治中後期の日本と世界（班）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日清・日露戦争、条約改正、大日本帝国憲法</li> </ul> </li> <li>・ 身近な地域の変化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渋沢栄一の事業と板橋地区の近代化</li> </ul> </li> </ul>	

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

戦国武将の領地運営から考える、人と自然環境（海）との関わりを伝え合う

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<ul style="list-style-type: none"><li>個人レポートの自己評価 評価（規・基）準に基づき、自分のレポートを評価する  （発表準備）</li><li>個人レポートの発表・相互評価<ol style="list-style-type: none"><li>同じ戦国武将を調べた班での発表</li><li>異なる戦国武将を調べた班での発表</li></ol></li><li>個人レポートの修正・提出</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>評価（規・基）準の確認</li> <li>班編成、発表のサポート</li> <li>個人レポートの評価</li></ul>

## 3. 今回の活動の自己評価

歴史的分野において、自然環境との関わりを視점에継続した学習活動を行った。地理と歴史を併せた形で単元を構成する自身初めての取組であったため、戦国武将調べについては地理と歴史の視点を併せて行うことを困難に感じる生徒の姿も見られ、個人差が大きかった。その後は個別調べの際に回を重ねると、人と自然環境との関わり、特に海に囲まれた島国であることが日本の歴史に及ぼした影響について考える生徒が増えていった。

## 4. 今後の課題

導入における、地理と歴史を併せて行う学習活動の意義やめあて・評価の説明を丁寧に行うことやレポートをデジタル化することで、生徒自身が自分自身の変容を振り返りやすい工夫をすること

## 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

各学校所在地の地理的・歴史的特色や校外学習等の行事等の兼ね合い